

防災教育や防災知識の普及

○小学生を対象とした防災教育の実施

- 目的：地域の災害リスクや防災の取り組みへの理解を深め、自然災害から命を守るために必要な心構え・知識・判断力・行動力等の知識を養う
- 実施日：平成30年2月14日(水)～2月23日(金)(5時間)
- 実施場所：稲敷市立あずま東小学校
- ※ 小学校5年生の社会科「自然災害を防ぐ」の単元において、国土交通省と教育委員会や小学校の先生などが**共同で作成した教材**を用いて授業を実施しました。

第2弾!!
社会科

映像教材を用いた授業の様子

水害を防ぐ施設や地域を守る人々を映像を用いて学習



避難行動パズルを用いた授業の様子

避難行動パズルで楽しく学習



洪水ハザードマップを用いた授業の様子

あずま東小学校区の洪水ハザードマップで危険箇所のチェック



市内の小学校への普及を目指して

公開授業の様子



市内の小学校の先生で意見交換会



- 子供達の感想●
- ・避難するために必要な食料や、洪水ハザードマップなどの安全を確認するものが必要だと思いました。
 - ・必要な非常食などの防災用品について、家族で話し合うことが大切だと思いました。
 - ・自分の命を守るためにこういうことを学ぶのが必要だと思いました。